



「ご利用者の皆様へ」

施設長 草野 千鶴子



「お別れのご挨拶」

旧施設長 岩井 昭一



さくら苑入所の皆様、通所リハビリの皆様、はじめまして。
12月から前任の岩井先生のを継いで施設長を勤めます
草野千鶴子です。初めてなので、まず、自己紹介をします。

私の育ったのは、神奈川県小田原です。箱根のふもと、伊豆半島の付け根にある海辺の町です。みかんの段々畑がある所でしたので、雪が降るのは、数年に一度くらいでした。だから「新潟の冬は大丈夫ですか?」とよく聞かれます。

大丈夫です。平成2年から、山形に移り住んで、冬の寒さと雪には慣れました。山形の雪と新潟の雪は少し違うかもしれませんが、雪を見ずに育ったせいか、雪は嫌いではありません。

山形大学医学部を卒業した後、救急車の来る一般病院で、整形外科医として勤務しました。それから、療養型病院で、お年寄りの患者さんをたくさん診てきました。さくら苑のような老人保健施設も一年足らず経験しましたが、今回のように施設長になったのは、初めてです。長年勤められた岩井先生のようになれるよう、職員の方々と協力して、がんばってまいります。

まず手始めに、個人情報に注意しながら入所の方々の記念写真を撮らせていただきました。それを見ながら、皆様の顔と名前を覚える努力をしています。入所の方々を覚えたら、通所の方々の記念写真を撮らせていただいて、通所の方々を覚えたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

老健施設さくら苑に就任したのは、平成8年4月でした。私は既に69歳になっていました。あっという間に14年8ヶ月が過ぎ去ってしまいました。これはさくら苑の居心地が良かったせいだと思います。この14年間に高齢者社会も一層深刻となりました。平成8年と最近を比較しますと、高齢比率は14%⇒23%、75歳以上の人口は5.7%⇒11.6%、平均寿命で男性は76歳⇒79歳、女性は82歳⇒86歳と大きく変化しました。

平成12年から介護保険制度が施行され、在宅復帰やリハビリ重点の施設として役割を果たしてきました。最近になって更に「看取り」も行うようになりました。老健施設も時代とともに少しずつ変化しているようです。

一昨年、私、突然心臓病で入院手術を受けました。運良く回復しましたが、以来体力の低下、病気再発の心配、後任の施設長の未定等のため、不安で1年が長く感じられました。

ところがこの度、後任施設長として草野先生が決定されましたので平成22年11月30日を以って安心して退職することが出来ました。今後、新施設長のもと利用者様がより安心して療養されることと信じています。

さて、私、これからのんびり年金暮らしを楽しもうと思っています。「のんびり」とは聞こえの良い言葉ですが、退屈との闘いかも知れません。「川の流れるように おだやかに この身をまかせていたい」と思っています。運命に従って生きることです。

今まで長い間、さくら苑に勤務できたのは、関係各位の皆様方のご支援とご協力の賜物と御礼を申し上げ、深く感謝しお別れの挨拶と致します。



～お願い～

施設長交代につき、利用約款を再度提出していただいています。まだ、お手元に届いていない方はさくら苑までご一報ください。また、約款はもらったけれど、さくら苑に提出していない方は早めに提出をお願いします。

行事報告

秋の収穫祭『そば祭り』



Fさん
「食べてみて、出来立てはおいしかった。また、こういう機会があったら良い。」

Sさん
「ば～か、良かった。職人が誇りを持って作っていてぬくもりがあり、おいしかった。粉の混ぜ方が上手だった。昔、家で作っていたのを思い出した。満足のいく祭だった。」

Hさん
「うんめかった。作るの見てても覚えられない。実際は簡単そうにみえて難しい。」

「さつまいも」

中庭でさつまいもを育てました。ある日の収穫風景です。



芋はそのままふかし、蔓は煮て食べ、堅い蔓はリースを作りました



蔓で作ったリース



どれも絶品!

加茂ガールスカウト様



プレゼントは金メダル

お茶会



甘くておいしいお茶でした



どちらも怖~い病気...でも気をつければ大丈夫！！

どちらも高齢者や他の疾患で免疫力が低下している場合には重症化したり、時には死に至る場合もあります。症状が出た場合は早めに医療機関を受診しましょう。また、かからないための予防方法をお知らせします。

◎まず、日頃より体力をつけ、免疫力を高めましょう！！

その1 「インフルエンザ」

〈症状〉

- 急な高熱（38℃以上）が出る
- 寒気・頭痛・全身がだるい・関節や筋肉が痛い
- のどの痛み・鼻水・鼻づまり・咳・痰など
- 嘔吐や下痢

県内の高齢者施設でも集団発生しました

その2 「ノロウイルス感染症」

〈症状〉

- 激しい嘔吐や下痢
- 高熱



〈予防方法〉

- ① 栄養と休養を十分にとり、保温に気をつける
- ② 人ごみをさける
- ③ 適度な温度・湿度を保つ
ウイルスは低温・低湿を好みます。加湿器などを有効に使いましょう。
- ④ 外出後の手洗いとうがい
- ⑤ マスクを着用する。



〈予防方法〉

- ① 二枚貝（カキなど）はよく洗い85℃で1分以上加熱
- ② 果物や野菜はきれいな水で充分洗う
- ③ 腹痛や下痢の症状がある人は調理をしない
- ④ 手洗い（大便後は石けんを使って十分なもみ洗いを時間をかけてする）



〈嘔吐した場合の処理の方法〉

- ① 使い捨て手袋・マスクを着用する。
- ② 吐物が乾燥しないうちに次亜塩素酸Na（商品名：キッチンハイターなど）を使い、吐物が周囲に広がらないようにボロ布やティッシュなどに包み込んでビニール袋に入れて密封する。使用した手袋やマスクも同様にビニール袋に入れ捨てる。そのまま封を開けずゴミに出しましょう。
※半径2メートル位まで目に見えなくても飛び散っている可能性があります。
- ③ よく手洗い・うがいをする。

まだ間に合う！簡単レシピ

材料：たまご 4個
砂糖 大さじ2
塩 小さじ半分
サランラップ



「錦（にしき）玉子」4人分

- ① ゆでたまごを作る。
- ② 白身は白身、黄身は黄身に分けて茶こしでこして細かくする。
- ③ 白身・黄身を2分の1づつに分け砂糖・塩を加え、混ぜ合わせたらサランラップに細長く伸ばし棒状にする。
- ④ サランラップをはずし、4本を市松模様に重ねて、もう一度サランラップで巻く。
- ⑤ 蒸し器で蒸したら出来上がり

冷めたら好みの厚さに切ってどうぞ！

「さつまいもきんとん」4人分

材料：さつまいも 中2本
砂糖 小さじ1
塩 少々
栗か甘納豆 適量
※砂糖は好み調整して下さい



- ① さつまいもの皮を厚めにむいて水に浸す。
- ② 1センチ程の厚さに切り、ひたひたのお湯でゆでる。
- ③ 柔らかくなったら、お湯を捨て、鍋の中でつぶす。
- ④ 耐熱の容器にお湯大さじ2と砂糖・塩を入れ電子レンジで1分間加熱する。
- ⑤ ③のさつまいもと④の砂糖湯を加え照りを出す。
- ⑥ 食事の状態に合わせて切った栗や甘納豆を加え全体に混ぜ合わせたら出来上がり

温かなくてもOK！冷めてもOK

ご参加ください！「サービス担当者会議」

入所サービスをご利用の方、全員に「サービス計画書：（ケアプラン）」を作成しています。入所前の情報やご本人・ご家族様の要望などをお聞きし、「ご本人様にどんなサービスを提供すればいいのか？」と暫定的な計画を立てます。その計画を基に、いろいろな職種のスタッフとご本人・ご家族様が意見を出し合う場を「サービス担当者会議」と言います。

「サービス担当者会議」を開催する日は、ご家族様宛てに案内を出します。（各ベッドの所やタンスに張り出します。）

当日、都合がよければ、ぜひご出席下さい。（ご本人・ご家族様揃っての参加でもかまいません。）

サービス担当者会議で、「サービス計画書」を練り、よりよい「サービス計画書」を検討します。その際、ご本人・ご家族様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

「サービス計画書」を基にサービスを提供します。その後、3ヶ月後もしくは体調に変化等があった場合はその際に再度サービス担当者会議を開催することになります。

結婚しました

介護 木伏 恵理子
（旧姓 中村）
H22年10月2日に結婚しました。仕事と家庭の両立に毎日悪戦苦闘しておりますが、更には仕事も頑張りますのでよろしくをお願いします。

うまれました

介護 野島麻美
（第2子）

